



スハミラタイムで楽しく活動！

10月14日（火）の昼休みに、スハミラタイムを行いました。スハミラタイムとは、スーパーハッピーミラクルラッキータイムの頭文字をとったもので、異年齢のグループ内での交流を深めるための縦割り班活動です。スハミラタイムは1学期にも行っていますので、今回が2回目。1回目は顔合わせが中心でしたが、2回目は、楽しく交流することが目的でした。6年生が中心となって、どんな活動をすれば盛り上がるのかを考え、会の進行も行いました。各教室では、レクリエーションを楽しむ子どもたちの笑顔が見られ、歓声も聞かれました。



異年齢集団での活動は、年齢や学年を超えた交流を通じて、思いやりや協力の心を育む貴重な機会だと考えます。主に6年生は、責任をもつことやリーダーシップについて学びます。同一学年で活動するときには、周りの様子を見ながら活動する子ども、縦割り班では先頭に立って行動する様子が見られます。6年生以外の子どもたちは、縦割り班活動で手本となるモデルを得ることで社会性が育まれます。上学年の言動を見ながらよりよい行動を学んでいました。また、上学年に見守られているので、普段よりも安心して過ごすことができる子どももいます。子どもたちの居場所としても機能しています。このように、縦割り班活動の中で、互いに学び合いながら、豊かな人間関係が築かれることで、学校全体の温かい雰囲気づくりにつながると思います。



この縦割り班で清掃活動もしています。スハミラタイムだけでなく、日々の生活の中で接点を見出して、子どもたち同士でよりよい人間関係を築いていくことを期待しています。

地域とのつながいを生かして3

2学期、2年生は町探検として校区内の施設等を巡ります。第一弾として、潮見公民館を訪れました。公民館主催の地域行事に参加したことのある子どもたちは多いと思いますが、公民館がどんな活動をしているのかということを知っている子は、少ないはず。公民館を初めて訪れる子どももいますので、この機会に、公民館がどんなことをしているのか、生活科で調べることになりました。



公民館には、会議をしたり調理をしたりする場所があります。図書室もあります。こういった点では学校に似ている部分があります。この日は、たまたま公民館行事をしていたので、一緒にその活動に参加することもできました。公民館に関心をもつことで、地域への関わりも広がってくるのではないかと思います。